

# 風"s・風のたよりオンライン版

2001/9/10 No.54

風のたより54号

## ■ 店長(ゆっこ)の休みは？

台風15号が今夕東海地方にも影響がありそうなニュースが入っています。今朝5時、まだ車のライトがいるような道路に出て、7分ほど離れた橋むこうの家庭菜園に車で向かった。橋を2つ越えていくので7時過ぎると、名古屋の中心に向かう車で混み、戻るのに4倍くらいの時間がかかるので、こここのところ夜明けとともに出かけ、2時間くらい土とたわむれ、7時くらいまでに帰るのが月曜日、私の店の休みの1日の始まり…。休みといっても畑の後はずぐ、事務関係の仕事がたまっているの、ほぼ1日仕事。1週間分の買出しとちょっと寄りたい店でのティータイム以外は寝るまで仕事という月曜日です。1年のうちでの大イベント5日間の映画祭が終わりほっとしています。

## ■ 「あいち国際女性映画祭」終わる……

今年の映画は世界的に活躍する女性映画監督作品14本と、なつかしの日本映画4本「華岡青州の妻」「恍惚の人」「娘・妻・母」「香華」が上映され、盛況でした。まだまだ知らない人がいるので、もっとより多くのかたにこの女性の視点から描く映像の世界のイベントをお知らせしたいと思います。「やっぱり昔の映画はいいね～」と言っていたお客様がいらっしやいました。

## ■ 「折り梅」がオープニング

今年のオープニングは、愛知県豊明市に住む小菅もと子さん著の「忘れても、しあわせ」をもとに「ユキエ」監督の松井久子さんがアルツハイマーにかかわる映画を再度取り上げた「折り梅」。原田美枝子、吉行和子さん出演。

この「あいち女性国際映画祭」で松井監督の話を聞く機会がありましたが、男社会の典型と言われる映画の世界で健闘しながら映画が創られていく話を興味深く聞きました。この松井監督を是非応援したいと思ったものです。「ユキエ」は戦争花嫁として渡米した人が若くしてアルツハイマーになった話ですが、自主上映という形で全国を回ったそうです。

## ■自主上映で回る....

姑のアルツハイマーが引き起こす、介護する側、される側が描かれた、この「折り梅」の上映後のトークショーで、原田美枝子さんが語った言葉で印象に残ったのは、嫁というような立場を越え、枠にとらわれず人間としてみるようになることが大切だということ。

しかし現実の大変さを乗り越えるには、家族の支え合いや、施設の人の援助、近所の人の見守りや、友達のこころの支え合いなど、みんなが輪になるような社会のシステムが必要だと思います。日頃からの自立した生き方が支え合える基礎だとも思います。

今回の「折り梅」も、来年2月、東京の映画館での上映を皮切りに自主上映も可能だそうで、是非全国を回って回って、みんなで泣き笑いを共有し、地域で介護を考えるきっかけになったらいいなと思います。映像の伝える「良さ」や「楽しさ」を確認した「あいち女性国際映画祭」でした。

---

---